

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年7月20日(水) 16時00分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他8名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 高放射性廃液貯蔵場(HAW)及びガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の安全対策に係る性能維持施設について
資料2 高放射性廃液貯蔵場の空気圧縮機(272K64)のブロワ部の分解点検結果等について
資料3 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール(案)

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは本日の面談を始めさせていただきたいと思います。では早速、目、資料の説明に先立ちまして、ガラス固化の状況についてご説明をお願いいたします。
0:00:14	ガスモリカワの方から、O T Mの方状況の方、報告させていただきます。
0:00:21	前回の面談移行方法ということで、
0:00:24	まず7月8日までにですねN Sのマニピュレータースレーブアームの整備点検整備は一応完了しております。その後、
0:00:36	4月の9日土曜日ですね全期間中維持する通水確認でありますとか、ガラス原料供給設備の作動確認、これを実施して、
0:00:45	運転開始前までに実施すべき点検項目の確認をすべて完了をしております。
0:00:52	7月12日14時からガラス固化処理を開始しております。
0:00:58	7月14日1本目の流下準備の作業中に、流下監視用のI T Vカメラ、こちらの映像が辛くなったことを確認して、
0:01:08	調査の結果、基盤からの映像信号が出力されていないということで、
0:01:15	推定しましたので点検整備を行うということで、要領につきましては保持運転ということで、ガラス原料廃液の供給を一時中断としました。
0:01:26	I T Vカメラの基盤更改につきましては7月15日の2極の時間体までに完了し、7月1020日頃からいろいろなガラス原料廃液の供給を再開しております。
0:01:40	1本目の流下につきましては7月16日4時55分から7時58分に実施しまして、
0:01:47	1本目から小型につきましては蓋溶接除染、本日綴じ込み確認検査もまでは完了しておりますこの後、ガラス固化体の方に保管の方に移っていきます一行目につきましては、
0:02:00	2本目につきましては、流下の方が、7月18日6時30分から9時17分、実施しております、
0:02:09	2本目のガラス固化体につきましては蓋溶接女性までが、今完了してるところでございます。
0:02:15	3番目につきましては本日、6時8分から8時54分にかけて実施しております。
0:02:23	これまでのところですねガラス固化体取扱工程等での不具合もなく、自然許可の補正抵抗を補助電極間の抵抗ガラス温度をにつきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	前回残留ガラス除去後の運転といいますと 19-1 キャンペーンですけども 11-1 キャンペーンの開始日とほぼ同様の値を示しておりますで現時点で白金族の堆積等の兆候は見られていないという状況でございます。
0:02:51	引き続き安全最優先でガラス固化処理を進めていきたいというふうに考えております。報告の以上となります。
0:02:59	はいご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
0:03:21	あ、ごめんなさい。ありがとうございます。
0:03:23	検証のカトウですけども、
0:03:27	これは今流下は順調ということで後段の北溶接とか除染等も改訳順調というか特に不具合がないという認識でよろしいでしょうか。
0:03:39	はい。減少傾向モリカワそうですね、応用湯流下以降のガラス固化体取扱工程こちらについても不具合等なく順調に今進んでいるところでございます。以上です。
0:03:54	よかったです。
0:03:58	はい、ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。
0:04:05	植野です。
0:04:08	りゅうカー監視用の I T B カメラの
0:04:13	主要実績というかその交換実績とかっていうのは何かわかりますか。
0:04:23	ずっと使ってたものなのか。
0:04:25	いつごろ交換したものなのかっていうところ観点なんですけど。
0:04:30	原則も、このカメラにつきましてフェイス
0:04:34	A2、一度交換しております、
0:04:38	大体基盤につきましては3年から5年ぐらいで、放射線劣化等によって、劣化していくってところ今回、
0:04:48	30年から大体4年ぐらい経ったところで、基盤の方の劣化という形で今回交換することにし、交換することになっております。以上です。
0:05:00	そうすると主要環境によると、
0:05:03	ここその間終わり。
0:05:05	流下っていうのはしてなかったとか、それそこは関係なくて、
0:05:10	セブ内にあっただってということで、市4年から5年ということなんですかね。
0:05:17	そうですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:20	夜の下にずっとつけてますのでやはりその環境によって、劣化しやすいというところがあります。ただ使用しない時はもう少し持つところ、
0:05:32	があるかと思えますけどやはり環境によって影響しますので、そういう場所にずっと置いてますのでやはりある程度の頻度で、レッカー交換って形になるところが今までの実績となっております。
0:05:48	そうすと今回、能交換ってのは次寿命だということですかね。
0:05:55	そうですね。
0:05:59	通常の I T V カメラであれば、だんだんその映像が暗くなったりしていつて、劣化の兆候というのがわかるんですけど、今回いきなりその、
0:06:08	映像が見えなくなったってことで、通常劣化がわかればある程度想定して交換ってのはできるんですけど、急にちょっと映らなくなったってことで、こちら少し基板の故障というのが考えるのかなと思ってますけど、大体、
0:06:22	使用の年数とか今までの経験かすると大体今までと同じような事象の中での対応かなというふうに考えております。
0:06:32	はいわかりました。
0:06:41	原子規制庁カトウですけども他、規制庁側から何かございますでしょうか。
0:06:50	はい。ではよろしければ、じゃ次、工程洗浄の実施状況についてご説明をお願いします。
0:06:58	はい。内施設の仲村です。それでは工程洗浄の状況についてご説明いたします。
0:07:04	7月6日の状況でございますけれども、6月21日の8日開始後、先週末までに全15、10回のうち、6回目の戦略物の溶解を終了しております本日、
0:07:16	7回目の溶解を行っております。
0:07:18	4回目の気密チェックとも問題なく実施しております。
0:07:22	また、廃液の送液先ですけども、高放射性廃棄貯蔵場への送液も順調に行っております本日5回目の損益を行っております。
0:07:34	以降昨日、一昨日等リプレイの損益の信連の主張につきましては、
0:07:40	ストレーナのふた部分、条件にありますストレーナのふた部分の限りでナビゲーターが取り出せなかったため、フランジ接続のそれがそのものを、を取り出して、これは保安規定に基づく部品交換として実施とございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:53	いう新品と交換しております。
0:07:55	そのあと大里大里は問題なくそういう効いてきております。先ほど 15 時現在で、昨日交換してから約 7 回の損益を行いまして、問題なくそれ聞いてきています。また、
0:08:07	途中 2 回目の損益が終わった後に、それらの三分、フィルターの部分の連携を行いましたけども、初期のさびが若干付着してございましたけれども津波との異常が見られる。
0:08:18	ていないという状況でございます。
0:08:20	このままいきますと、計画で 1 月中にはせん断粉末の溶解を終えまして、その後、分析上の廃棄処理や洗浄等を行いまして、8 月のお盆を挟んで 9 月上旬までに、
0:08:32	工程洗浄のうち、洗濯松野を
0:08:35	お取り出しに関しては終わる予定になっております。
0:08:38	報告は以上になります。
0:08:42	書記規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、規制庁側から質問コメント等ありましたらお願いします。
0:08:58	細野です。一言で言うと順序だっていう感じでとらえていただければいいですか。
0:09:05	はい。その通りです。
0:09:18	上規制庁カトウです他よろしいでしょうか。
0:09:24	はい。そうしましたら引き続き安全第 1 でよろしく願いいたします。
0:09:29	続きまして資料の説明に移りたいと思うんですけども資料 1 に先立ちましてまず資料 2 のご説明の方を議事録方からお願いします。
0:09:45	はいそれでは資料 2 の説明をさせていただきたいと思えます。こちらにですけれどもすみません私も P D F にですね一応
0:09:57	添付しております図の 1 ですか 10-2 がですけど、抜けておりまして、
0:10:03	今の場面を導入させていただいて合わせてご覧いただきたいかと思えますが画面のそういう状況はいかがでしょうか。
0:10:16	はい移っております。
0:10:19	はい、ありがとうございます。そうしましたらこの画面を見ながらですね、本文と合わせてご説明を差し上げたいと思えます。
0:10:28	資料 2 の方です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:38	このブログの分管理権結果等についてということです。
0:10:42	はじめにのところですけれども、事象としまして7月の3日ですね、水素掃気用の空気圧縮機が停止をして予備機と切り替わったと。
0:10:52	いうことを対しまして石田小黒分解点検を行って、原因調査を実施いたしました。今回はその結果について報告をする法律になっております。
0:11:04	2ポツのところですがすけれども停止本社のK-64の使用履歴についてまず最初に整理をしてございます。この当該フロア部についてはですね、25年平成25年の4月に予防保全として交換をして、
0:11:20	今回停止するまで約9年間、運転をしておったということで、その履歴についてはですね表の1の方、せ、整理をしております。
0:11:31	これフロアブーについてどのような期間で使ってきたかということですが左上、見ていただきますと昭和61年から平成16年までの間、
0:11:42	ということでこれは施設が建設したのがですね、昭和62年ということですので、
0:11:49	建設当初から平成16年までの間は、約19年間使用しております、これに対して予防保全を行って平成16年10月時点でですね、備考欄にございますけれども、
0:12:03	実行系ですとかオイルシールリング等のは後半を実施して整備をしたといった経緯を持ちます。
0:12:09	2行目ですけれども同じフロア分はですね、また平成18年の11月から平成24年の4月におきまして約4年は、これは
0:12:19	272の形の63というキャッシュ機の方にこのフロア分を取り付けまして設置しまして、約4.5年間使用しておったということになります。
0:12:30	平成24年の6月にもですね、備考欄にありますように同様な整備を行って、平成25年の4月からはですね、今度は272の計の64。
0:12:42	今回提示した方ですけれどもここに取り付けまして、
0:12:46	運転をしておりました。
0:12:48	というような状況ですんでここで約4万1000時間ということで約9年でサーマルトリップにより停止をしたといったようなことは、これまでの使用履歴ということになってございます。
0:13:00	これのフロアにつきましてはですね、定期的に年次月例等の点検を実施しております、傾向管理項目におきましてその測定値については判定基準以内であったということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:17	これにつきまして参考資料 1 ということでページの 44 ページのところに、
0:13:24	年形式で日曜ということで、それぞれどういう項目について現点検をしておるかというようなことと健康管理を行ってるその項目については月例点検のところの米印 1 に書いておりますけれども、
0:13:40	こういった振動加速度振動速度等を健康管理の指摘を受けたことでございます。
0:13:47	日常的にもマジッククラブと電流値についてですね確認しながら、維持管理をしておったというようなことですが今回の異常に関してはこういった点検の内容をでは兆候というものはなかったというようなことになってございます。
0:14:04	ほぼ戻っていただきまして 40 ページ、3 ポツですけれども、ブラボアの分解点検結果ということで今回分解しましてようやく層がわかったかということを書いてあります。
0:14:17	一番下のポツですけれどもロジックが割ろうたスタッフの大路国分様、水川と、これゼンシュウ方法にキーワードがあったということで、
0:14:27	今画面共有していただいております図 1 のページのですね、写真 8 番 9 番ということで左下のスタッフの写真が 8 番 9 番と。
0:14:39	こういうことになっております。
0:14:41	真ん中のポンチ絵がですね、ルーツブローの黄色い部分がですね、ロータシャフトを示しております、
0:14:50	このロータシャフトはですね、両端を時空系ここの図で言いますと緑色に異論とりますけれども、
0:14:58	実行形で両側を支持されている、こういった構造になっています。
0:15:03	このローターを収めるのを、ケーシング
0:15:08	それを左右で挟んでいるハウジングとの相対な部分、部品で補正されております。
0:15:15	写真の 8 番 9 番につきましてはそのロータシャフトの部分が写真 8 番の方に全体が写っております。
0:15:23	これの左側赤枠で加古赤丸で囲ってる部分を拡大したものが写真 9 番ということで、室田シャフトのこの軸部の部分ですねこのギザギザがこう見える部分ですけれども、赤丸で囲ってる部分に対しまして前章方向に
0:15:41	こういう傷があったと、こういうようなことでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:45	本文戻っていただきまして 42 ページですけれどもこちらの一番上のところですが、ファンディング度を上限にもですね、同じく原子力に傷が確認されたと。
0:15:59	ということで、まず 1 の写真 E のですね、①番、②番が該当しております。左上の形になっております。
0:16:08	写真一番のこのハウジングというのが、真ん中のポンチ絵で言いますところの赤い、
0:16:14	部分の材料ということになっております。
0:16:17	ロータシャフトを、が通るために、ハウジングには二つ穴が開いております。下側の穴、のところにですね先ほどの
0:16:30	見ていただいた写真 9 番のロータシャフトが入ると、こういう位置関係になっております。
0:16:37	写真 1 の赤丸で括った部分、拡大いたしますと写真になりますが、こちらにおいてはですねローターハウジング行のですね、全周方向にある図があったということと、
0:16:50	画面図 1 の方ですね、矢印で赤く赤の矢印で示しておりますが、表面の全周方向に接触コントをその部分に黒い付着物。
0:17:02	が確認されているというような状況になってございます。
0:17:07	本文戻っていただきまして 42 ページ、上から二つ目ですけれども、この基準につきましては浜銀古川の傷についてはわずかなへこみ、
0:17:19	ロータシャフト側の傷について恨みを言うなものが認められて、
0:17:23	両方の部材が接触した際の聖職こんというふうに考えております。
0:17:30	は向こうの傷部分についてはですね先ほどありました全市方向に来る物が認められたと。稲井状況と、
0:17:39	あと部、ここの内部側ですけれども、ローターの表面、これ写真の
0:17:48	ローター表面でその写真の 6 番ですとか、ケーシング表面をいうことで写真の 4 番、5 番ですね。
0:17:58	こういったところを同様の黒い付着物が認められております。
0:18:07	またオイルシールのゴム、これニトリルゴムですけれどもこれについては一部欠損が認められたと。
0:18:14	ということでこれについては図 1 の写真の真ん中上段のところ写真 3 でございますが、ここを赤く点線で囲ってる部分も若干見づらいんですけれども、
0:18:27	ここのニトリルゴムの部分が公開して事務欠損していると。
0:18:32	こういう状況が認められております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	オイルシール自体はですね、先ほどありましたポンチ絵の中で見ていただきますと、オレンジ色を示してる部分ということでそれぞれのキックにある、ございますが同様な結果というような状況が確認されております。
0:18:53	僕、これはブラフを構成します。その他の部品につきましては外観の傷については認められていないということになってございます。
0:19:03	最後のポツですけれども、生食このありました駆動軸、側のローターシャフトの軸封部については、ここで接触がありましたので寸法測定の結果ですね、5 マイクロ程度の深部れが認められていると。
0:19:21	また事業経営におきまして 0.015 から 0.3 程度の摩耗があるということですが、これについてはいずれも部品のクリアランスの問題なるような寸法変化ではあります。
0:19:34	こういったことを検査の結果点検の結果から確認をいたしまして最低限として 4 ポツに示しております。
0:19:43	外観目視の結果によりまして一般の流入を対象との軸封部の記述は神宮小野を水間政権したことから、
0:19:52	ロータシャフト等をハウジングの接種運用サマリーが発生して停止に至ったと、こういうような推定をしております。
0:20:01	事実関係としまして最初のポツですけれども、オイルシールのオウムの劣化決算が認められた。
0:20:08	ローター表面にはですね全面に黒色の付着物を認めると。
0:20:13	こういったことから結論したオイルシールのゴムがですね、ロータシャフトの軸封部ハウジング鴻巣から内部に引き込まれて、ローター等の表面に付着したというふうに推測をしております。
0:20:25	これについては画面共有、次のページ、図 2 をいただきますと、先ほどのポンチ絵部分、左上を見ていただきたいんですが
0:20:37	傷があったと言っているロータシャフトの軸フープはブルーで示しております。ハウジングの部分あと、ということで、
0:20:47	緑色で点線で囲ってる部分を右側に拡大をしております。
0:20:53	このホールディング細かい材質のものと、ブルーで示したロータシャフト軸部とここのその隙間というのは、ここにすぐありますけれども、約 0.09、
0:21:06	こういうような状況です。一方でケーシングの内部に回転するローターですね。
0:21:12	これとハウジングの隙間は 0.2 というようなこういう関係になる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:18	大城椎野が左上のポンチ絵を見ていただきますと、この位置にございまして、オレンジ色の部分ですがこれが一部ゴムが崩壊して欠損してるということでオイルシールのその構造について左下のポンチ絵。
0:21:36	で説明をしております。
0:21:39	オイルシール自体はですねこういうゴムの部材で、ゴムとニトリルゴムと書いているような部分ですねこういった部分はまた一部欠損をして、
0:21:52	拡大図の方で言いますと黒いマーク売りますけれども、こういった形で欠損剤がロータの中に含まれてきて、
0:22:03	先ほどのような形でロータの表面ですとかピーティングの表面ですとかそういったところに着工していたと。
0:22:09	こういったような関係でございます。
0:22:13	このうち拡大図を見ていただきますと、ロータシャフトの軸封部ということでこのぎざぎざ5をついてる部分、からですね、
0:22:25	右側の領域においては、5mm程度の鳥井ではありますけれども、ここはフラットの部分になってございまして、ハウジングとそのロータシャフト軸部という関係ではここが一番の狭隘部と、
0:22:40	こういうような形になってございます。
0:22:42	ここに、先ほどの点検の結果写真の1にですね、図の1の写真の2にありましたように、
0:22:51	町方向にこのうち個別があるというようなことで、
0:22:55	ここに巻き込まれたオイルシールの計算部材がここで噛み込んだんではないかというふうに考えております。
0:23:04	また先ほど全周方法に傷があったと言ってる部分がですね、この拡大図のこの
0:23:09	なんつうか、このマークが打っておりますけれども、この部分で金属同士が接触して片方へこみ方はグラムという形で、
0:23:22	部材を一部削るような形で接触をしていると、こういうふうな状況でございます。
0:23:28	最終的にはこの金属部材の接触部分とですね、サーマルが発生するというふうに考えてございます。
0:23:37	本文戻っていただきまして42ページの4発推定原因のところですけども、今申し上げたようなことがこちらのC Tの中で書かれていると。
0:23:50	というようなことでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:52	なお書きのところですが、一番下のなおのところですが、ブログの後半をもうすでに、272の形の64を行っておりまして、ここでは新品を使用しております、
0:24:05	同様な部品の劣化というのはございません。
0:24:07	また予備機の下63の方はですね、これオイルシールを含めて必要な部材について新品と交換をいたしまして整備した。
0:24:17	グラフの予備品を保有していると、こういったようでございます。
0:24:22	5ポツです。報告についてはブランドの交換についてということで、この結果を踏まえてですね整理をさせて、分解点検の結果を踏まえて整理をさせていただいております。
0:24:36	最長確認されましたロータシャフト軸封部とロータシャフトフォールディングのこれ修理。
0:24:43	いうことを行おうと考えておりましたがメーカー排出をしまして、部品の研磨部品の研磨部品のバランスですねこういったものを調整しながら、
0:24:55	修理をするということに対しても非常に時間がかかるということ。
0:24:58	これらの部品をですね新たにポーター数となりますと受注生産ということで、これについても時間もコストもかかると、こういったような状況になってございます。
0:25:12	このグループについてはですね先ほどありましたけれども昭和61年からの整備、重ねてきた古い部品であるということもございまして、
0:25:22	今回は終了せずですね、これは廃棄をいたしまして、今後は別の予備品を同一仕様のものでございますけれども別の予備品のグローブを使用する。
0:25:33	いうことを考えております。
0:25:36	第2パラですけれども、今回の事象についてはですねこの分解点検の結果から、
0:25:42	消耗品、Eでありますオイルシールのそのゴムが劣化して一部欠損、
0:25:48	これが先ほどの教科書にかみ込んだ結果クリアランス新倉井戸氏、これは荘司栄養剤の生食たもの。
0:25:56	いうふうに推測推定をしております。
0:25:58	オイルシール等の表も部品についてはですね部品交換を前提としておりまして、既存の空気圧縮機のその構造性能等を変更するといったものが挙げてくださいということです。
0:26:11	また7月4日に音声に交換しましたブラボー含めて保管しておりますグローブの予備品。これはいずれも同一

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:19	ということで施工の記載事項に変更はなく、松波勝野哲様と、
0:26:25	いうふうに考えてございます。
0:26:29	これについてはブログの交換、まで含めた分解点検の結果ということで情報報告いたします。
0:26:41	です。
0:26:43	原子炉規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメント等ありましたらお願いします。
0:27:00	いや、各科栗崎です。一つよろしいでしょうか。
0:27:05	お願いします。お願いします。
0:27:07	すいませんこの推定原因のところなんですけどこちらで書いてあるのちょっとよくわからないんですけど、要は、この
0:27:16	消耗部品でやってるところのオイルシールのゴムが劣化してそれを巻き込んだからこの辺が、その遅れが生じてっていう、そういう原因だっておっしゃってるんですかね、そういうことでよろしいですか。
0:27:31	はいその通りです。
0:27:33	で、すみません、続けますけれども、それに対しての再発って何かやらないんですか。
0:27:41	ちょっとこれだとよくわからないんですけども、定期的に行うとかそうだったらまだわかるんですけど。
0:27:47	道を設けたからいいよってというような感じで終わっちゃってるんですけど、そういうことでよろしいんですかね。
0:27:56	そうですねこれについては後候補にブランドの交換ということで、実際グループ交換していく中で、表の一井でございましたように、こういうグラフを交換するタイミングで、
0:28:11	必要なオイルシールを含めた消耗品というのを交換をしていくと、してきたと、こういうようなことがございます。
0:28:20	今回はこのブランドの交換にあたってですねちょっと許認可要否について、前回ご相談した違うって言ったような内容で少し牧田所ですけども、
0:28:32	部品交換ということで対応していけるということであればですねその際に、頻度を決めてですね、こういう消耗品レッカーが進む前に
0:28:45	それぞれ消耗品の交換をしていくと、こういうような形で政府していただこうというふうに考えております。
0:28:51	まずちょっと今日佐田一緒に差し上げたいと思っていたところではあるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:00	あ、すみません菅栗崎です。それであればねこういうところはちゃんと確実にやってまして、制限をしていただいた上で、それでこれでどうですかっていうご相談いただいた方が、
0:29:15	よろしくはないですかねこれだとよくわからないんですけど。
0:29:19	手続き不要とか、そういう判断は研修にお任せしますけれども、きちっとやりますよ。ここ、もうちょっと具体的にやりますよ、だからいいでしょっていう話になってないような気がするんですけど、その辺いかがでしょうか。
0:29:39	はいご指摘の通りだと思いますすみませんでした。その部分が少し資料として不足してると思いますので、そういったところを追記いたしまして
0:29:50	対策として、どうするかということを含めて、ご報告を差し上げたいと思います。
0:29:58	加来栗崎ですちょっと言い方ちょっとチェックして申し訳なかったですけど、やっぱりちょっと具体的にされていかないところをこうしますよっていう話をさせていただかないとちょっと弱いのかなあとって、ちょっと申し上げたんですけど。
0:30:11	きちんとやっていただくということ前提でね、その上でご相談じゃないかと思ったんで申し上げ、申し上げた次第です。以上です。
0:30:22	はい、承知いたしました。
0:30:26	すみません。
0:30:28	有吉です。
0:30:29	41 ページをちょっと見ていただいて、
0:30:34	ちょっと今のやりとりもあるんですけどよく理解これできなかったんで、お伺いします。
0:30:42	これ昭和 61 年につけて、
0:30:45	19 年計画と書いていますけど、
0:30:48	これ 19 年間はずっと使いつ放しで、
0:30:52	オイルシールも Oリングも全く交換していなかったってことですか。
0:31:00	この表 1 のところはですね五名の運転時間のところに米印 2 を書いておられますけれども、ある期間で月例で K-6364 をそれぞれ切り換えていくという形で、
0:31:17	この 19 年間の中でのその累積時間というのはここに示すような、こういうふうになってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:23	この期間においてはですねN V L A Pの分解点検をせずとも、まずしない状態で運転をしていたというような状況で、平成16年の10月にブラボー外しまして、
0:31:37	そのあとの生物グループの中で、大串埠頭の交換を実施しているといった流れでございます。
0:31:44	はい。だから最初19年は、マジ空気元この度をもって公開しないということが起きなかったってことですね。
0:31:53	浅野さん。
0:31:54	今度は当該の部分で、
0:32:00	旧63につけて、これは4.5年でしたわけですね。
0:32:06	これは予防保全と書いてあるから、
0:32:10	定期って意味がちょっとよくわかりませんが、4.5年とか、
0:32:15	とにかく今回変えた、その時に変えた。
0:32:19	ここから先に、この方の文章を変えたということですね。
0:32:24	伊佐の通りです。
0:32:26	それでね、この表示よくわからないのは、平成、それほどは予防保全だったということなんですけれど、
0:32:34	事後保全に変わったということですか、これ。
0:32:37	だからこれ見ると、床、壊れてから何かそれはいいんで、とりあえず何も撤去する2約9年使った。
0:32:45	今回、壊れたんで、予備品と変えます。
0:32:50	と言われるんですけど、これは自己保全だから、特に壊れる前に何かつぶれなかったということ。
0:33:00	ちょっとですねこの参考資料1の方見ていただきますと、この平成12行の一番2行目から3行目に流動性予防センター事業本部であるタイミングですね、
0:33:14	00参考資料1、44ページですけどもこの年月で日常に加えてですね傾向管理の方やっていくっていうことで、
0:33:25	以上の情報についてはこういった管理項目を置いて、監視を継続的に月例で実施していくと、こういうようなことでここでもし出ればですね浅部レッドの勉強を
0:33:41	事前にホウ酸注入して、末の段階で要望をしていくと、こういうようなことで集金の方ですねなるべく合理化していきたいというようなこともあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:52	こういう取り組みをしておりました。
0:33:56	25年以降はですねこういう
0:34:02	健康管理等の項目を入れて、管理しておりますけれども、今回においてはですね判定基準の中でそういったことを見つけることができなかつたと。
0:34:13	こういったのが事実関係になってございます。
0:34:20	それで、
0:34:22	そういう事実関係のもと、許認可その手続きだけ聞いてきたってことですか。
0:34:29	それでサーマルトリップによって停止をした新名抜き系の64の油分についてはですね、実際多いグラフをアッセンブリーで、部品の仕事になりますけれどもこういったものを交換をするということで、
0:34:47	これ前回設工認のその容器ということで、ご相談を差し上げて、ちょっと変更、性能等の変更はないということで、
0:34:57	変更内容に関しては同一のものになりますので、管理課のこの変更内容の必要ないという案をいただいたとこういうものでございます。それだから今回の地震、
0:35:12	はい。いやだからすいません今回、こういう問いかけをしたけれど、
0:35:17	これはその前からそういう運用をしていたので、ずっとこういう考え方で来てたってことなんですよ。
0:35:28	だからそうですねいやだから、何だっけ。41ページで言う、
0:35:34	なぜこれ、平成18年か、ここで、予備品と交換していて、ずっとこの増加を繰り返してきていると。
0:35:42	この頃から同じことやってるんだけど、その当時から設工に変えるっていう気はなかったでしょ。
0:35:49	今回はないんですよねっていう確認したかっただけですから。
0:35:56	そうですねそれに時代のものにおいてはまた今とまたウエノシステムが違うというところもありまして、現状保安規定に基づく部品交換というルールを定めて、
0:36:11	それを運用しておりますので、その中で部品の集合体、を交換する際の扱いについて、伺いたかったということで相談差し上げたような状況です。
0:36:24	そうですか。で切っても、こう書かれるとよくわからない

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:30	さっき、事実関係はと言われたけど、予防保全から事後保全に考え方が変わったというんだったら、これは当時、何か議論されたんですかね、規制当局と。
0:36:50	すいません平成 24 年 5 年の時の規制当局との議論ということでは、すいませんちょっと過去の記録を見ないと、
0:37:04	インベントでちょっと把握していないというような状況です。
0:37:20	それすみません 19 年間話題がなくて、
0:37:25	今回は 9 年か開いたと。
0:37:30	単純にこれだけ見ると何かの半分で駄目になったってのは何か理由があるんですか。
0:37:35	遅れた線量でもないかもしれないけど、
0:37:43	これ、神戸の学校、おっしゃる通りですね。
0:37:48	栗崎さんの話と繋がってくるんですよねこれ。そうですね。
0:37:56	だからそこは気づいてわかりそうじゃねえ。
0:38:02	そうですね期間の違いというのは当然あるということ。そうやはり事象も前提としている部品が
0:38:15	消耗してきてると結論過ぎてるっていうことですので、先ほどご指摘いただいたようにこういう結果、事実関係が積み重ねてきて、ご意見を踏まえた中でですねどういう保全のやり方をのが合理的なのかと。
0:38:33	いうことをもう一度対策としてですねこうしますということをしっかり決めていきたいというふうに考えております。
0:38:42	事後保全試運あの時間計画保全っていうか、状態から徴税が失敗してるってことですかね。
0:38:53	そう言えますね。
0:38:55	うん。一言で言うと、
0:38:59	事後保全でいいんですって。
0:39:03	いう結論なんですかね、これは。
0:39:07	多分オイルシールがうまく菅神田かなんかして、
0:39:12	これ、
0:39:14	ミドルフォームなんで、緑江口のゴムですから、フワー。
0:39:19	うまくはまってなくてっていう感じのような気がしますけども。
0:39:25	何か、
0:39:26	空栗崎さんが中途半端だっておっしゃってんのもう正しくそこら辺の時間計画保全が事後保全か、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:35	時間計画保全ちゅうか状態監視保全なんだって言う割には、
0:39:40	その状態がよくわかんないまま、結局壊れるのを待って、
0:39:45	それで直しましたって、じゃあ何なんですかってそんな時決めたことって いって、
0:39:51	そういうことだと思ってくださいねこれは。
0:39:57	ご審議の通りだと思いますその視点で再度検討いたしたいと思います。
0:40:10	これもう1回ってということで、じゃ次行きますか。
0:40:19	原子炉規制庁の方です。他よろしければ、これは引き続きということで、 よろしく願いいたします。
0:40:26	次資料の
0:40:27	1に戻っていただきまして説明をお願いします。
0:40:32	はい。再処理センターのナカバヤシ1の三つのワーキンググループに関 わる安全対策が、RTMの安全対策に関わる性能維持施設についてとい うことで、
0:40:44	先月の6月ツーマツにですね変更申請をした中で一連の安全対策、すべ て完了したということに伴いまして、N-Sの安全対策に関する製材実 績の追加についても、
0:40:58	応訴んす。先月の申請で
0:41:01	一式そろったと言う事ですが前回の面談の中で一式そろったと。
0:41:08	いったものをまとめて整理して示して欲しいということでしたのでち からの資料の方で取りまとめた次第でございます。
0:41:19	資料の中身の説明をさせていただきますまずはじめにのところはこれま で安全対策、令和2年5月から始まって、令和3年9月まで一連申請を 行って認可をいただいたと。
0:41:34	いうことでその中で新たにモデルとした保全対策設備と、あとは過去に 緊急安全対策として配備したが改めて、事故対処設備等として位置付け を改めた施設について、
0:41:47	昨年の6月29日に一部押す、先行して製造施設として申請し、また先 月6月30日に残りの
0:41:57	性能維持施設について追加したと。
0:42:00	ということです。
0:42:01	追加する中身についてはこの後の別添の方にまとめてございますが、
0:42:08	その中でかつ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:10	火災に間対する損傷の防止に関わるものと、溢水に対する損傷の防止に関わるもの、あと1度を
0:42:20	昨年の6月の変更申請制で、事故対処設備の性能維持施設については追加、図したんですがその後、
0:42:31	アクセスルートの改善、
0:42:34	を行いましたのでそれを反映して性能施設のリストを更新したと。
0:42:39	いうことになっております。
0:42:42	2ポツのこれ
0:42:45	昨年の6月に性能維持施設の追加を行った際に示した考え方を二つ再度
0:42:51	提示させていただいたもので、内容としては同じものが書いてございます。
0:42:58	ただ3ページの最後2本ありまして、
0:43:06	基本的な考え方の中ではもう認めないのを、
0:43:11	法令で
0:43:13	検査等が義務づけられているものは、紙の重複の排除という観点から瀬野移設としては位置付けていなかったんですけどもそのうちの障防
0:43:23	法、
0:43:23	に関わるものとして既設の消火設備と照明設備については今回
0:43:29	火災防護計画を再処理施設全体として定めたと、いうことに伴いましてこちらは性能維持施設として明確に位置づけると。
0:43:40	いったことをしてございます。こちらは若干の考え方を修正しております。
0:43:46	続きまして別添資料の方で具体的にどういった設備、
0:43:51	安全対策の性能事実として追加されているかというのを整理してございます。
0:43:56	4ページ目、別添資料ですねまず1ポツのところですが、各性能維持施設をいつ申請したかと。
0:44:04	いうものを、まず安全対策の括りとしてこの表の中にリストをとして示しています。安全対策としては地震による損傷の防止、
0:44:14	津波竜巻火災溢水、制御室事故対処、
0:44:19	いうものがありましてそれぞれ右側表の右側にある日にちに性能維持施設として申請している。
0:44:25	というものです。技術に関しましては、例えばこれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	安全対策の申請を行う以前の初回の先生の際にすでに性能施設としては報告している、津波につきましても緊急安全対策として整備した
0:44:44	浸水防止扉等については、そこへの人、申請の際に
0:44:50	登録してございますが、今回はTVFの安全対策で新たに設けるとした津波防護し、
0:44:56	咲愛津波漂流物防護柵等は、6月20、昨年の6月19日に申請しております。
0:45:03	竜巻につきましても昨年の6月の申請に含まれている。今回先月、申請したものの中では火災と溢水、
0:45:13	を申請させていただいています。また制御室の技術性は昨年度末に申請。
0:45:20	事故対処を
0:45:22	一部緊急安全対策設備についてはもう初回審査の時に、初回申請の時に申請してございますが、
0:45:30	安全対策として新たに有効性評価を行って新規設けるとしたのものとしてはまず、昨年度の5月に申請してございまして、先ほど申しあげましたようにアクセスルートの改善等もありまして、先月、
0:45:44	もう6月の申請で、
0:45:46	更新内容を更新しているということに記載していただき、以降に、それぞれの対策ごとにこういった性能維持施設をスプレイしていくかを、
0:45:59	興味があってここで個別の内容の説明は省かせていただきますが構成といたしまして例えば6ページを見ていただきます。もう、
0:46:09	こちらの津波による損傷の防止、
0:46:12	機能ということで性能維持施設、どういうものが登録されているかというのを表2という形で示しております。
0:46:20	表2の設備名称等申請書の性能維持施設の表と同じ内容を記載してございまして、その右側に参照先申請書という。
0:46:31	いう項目がございましてここで
0:46:35	各設備、性能維持施設の各設備について、
0:46:39	過去に事業指定レベルで
0:46:43	考え方とか設計方針を記載して申請した資料のお名前とあと工事等を新たに行って設置するものについては設工認を申請した資料。
0:46:57	水申請した時の申請日とそのタイトルを記載してございます。また性能維持施設に追加を行った日についても個別設備の名称ごとに整理したという形になってございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:12	このようにマッチ表を安全対策ごとのまとめてございましてその参考として 8 ページのように、すでに修正した該当する、
0:47:23	もう設工認からその設備の場所、位置や場所、
0:47:28	あと構成等がわかるような図を抜粋して改めて記載してございます。
0:47:36	でこのような形で他の安全対策についても整理させていただきまして、
0:47:43	最後を、
0:47:46	26 ページ、事故対処等のペースでございまして。
0:47:52	こちらについても昨年の 6 月の際に、一度
0:48:00	28 ページから主催しておりますように事故対処設備や可搬型設備、
0:48:06	と一部恒設設備を組み合わせてその事故が起きた際に、人力で設備を系統構成して、
0:48:18	蒸発乾固の発生防止を図ると、ということですので用意した可搬型設備がきちんと系統構成できるかというのをこういう系統構成図を展開することによって確認していると。
0:48:30	ということでございしますが、
0:48:33	伊佐、令和 3 年 9 月 30 日に、
0:48:37	プルトニウム転換技術開発施設の管理棟駐車場に事故対処設備を設置する工事の申請を行った際に、
0:48:47	分散配置を行う南東地区からこの駐車場までのアクセスルートの改善の検討を行いまして、
0:48:57	一番消防ホースの数とかですねルートの長さに応じて設備を拡充したことから、それに基づきまして、先ほどの系統構成図も改めて、
0:49:09	先月の性能維持施設の申請の中でその内容を更新した。
0:49:15	いったものになっています。
0:49:19	の整備のを、我々のホームページの方法としてはこのような形で
0:49:24	示させていただきます。
0:49:26	三本。
0:49:29	発音いただきまして例えば整理の方を切り口としてモデルをしていただきたいとかあと必要な情報をもうちょっとこういった情報を入れて欲しいというようなニーズが、
0:49:42	ありましたら対応いたしますのでよろしくご確認の方よろしくお願いたします。以上です。
0:49:51	院長規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。
0:49:58	こちらにつきまちはこちらから以前面談で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:02	発注者対内容に関する対応というふうには認識しているんですけども、ちょっと私の方から、
0:50:09	と言ってですね今回の申請で廃止措置計画の申請で新たに追加した性能維持施設として、火災等溢水がメインになるかと思うんですけども、あと、事故対処で一番のアクセスルートの改善に伴って、
0:50:25	追加したというものが、
0:50:27	あると思うんですけども、それは
0:50:31	そうですね。
0:50:33	資料っていうところもその 24 ページの、
0:50:38	表で、これはすでに申請されてるものと、
0:50:44	今回新たに申請したものって、多分あると思うんですけども、それを何かちょっとわかるようにしていただけるとありがたいなと思うんですが、いかがですか。
0:50:55	はい。わかりました。確認したり後
0:51:00	以前は How で使うとしてたものを T V F の方で使うという形で整理し直したりしているものもありますのでそういったところがわかるように、系統構成図の新旧
0:51:11	比較するような形でどこがどう変わったかっていう内容を追加してお示しすると、そういったイメージでよろしいでしょうか。はい。それで結構です。要は今回の申請で何が追加になったのかっていうのを明確にさせていただきたいというわけなので、はい。それがわかるような形で整理していただければと思います。
0:51:30	はい、了解いたしました。
0:51:35	1 ヶ月経っても、
0:51:47	私からは以上ですけれども他、規制庁側から何かございますでしょうか。
0:51:53	規制庁上野です。
0:51:56	申請書でいうと前後表でいうと、
0:52:03	134 ページに消防ホースというのが出てくるんですけど、
0:52:12	本件、
0:52:14	何、これ名称だけを変えたのかっていう、ちょっとわからないんですが、
0:52:19	一番から 91 番っていう消防ホースがあったものが
0:52:24	ここが一番から 53 番。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:28	になってるという。
0:52:31	本当なんですけど。
0:52:33	この変更についてはどういう変更なんですか。
0:52:38	西。
0:52:39	表号放送につきましては
0:52:43	こちらの
0:52:48	表を防水力 53 としているのが高放射性廃液中棒状の事故対象をとしては専用で使うものがあります。
0:52:59	一方で別のところで共有、
0:53:03	ファンと T M A 投票で用いると。
0:53:05	いうところにも消防ホースというものがあまして、これが 1 から 222、222 本、こちらで用意しているということで、要はノウハウの周りで展開する、
0:53:17	そうすと
0:53:20	そこから藤担当知久という、
0:53:23	可搬型の貯水設備を設けるところまで引いてくるところは T V F で共用しますのでそちらの方の障防法数はかなり数がアクセスルート上、
0:53:36	数が増える形になっています。こういった整理を少な薄くやることによって、ハードはちょっと減ってるように見えるんですが、共用で使う部分の方でそれをカバーしつつアクセスルートの
0:53:50	長さに応じて増強しているといった形になってございます。
0:54:00	編成を変えたということなんですかね。
0:54:07	はい。ちょっとは T V F 後そそらで共有するという形でいろいろホースのやりくりをしますので今回のアクセスルートで、改めて距離を
0:54:17	明確にしてあとはオフルートも二つ、以上を使うということで、どちらでも使えるようにという形でホースの分配ですね、
0:54:28	そういったところをちょっと更新しているというところでございます。
0:54:48	そういったところもちょっと表だけでわかりにくいと思いますので、系統構成図等を新旧含めて示す形でわかるように次回、
0:55:01	資料を展示したいと思いますが、いかがでしょうか。
0:55:05	はい。ちょっと最終的な形がこうだよっていうところでわかるようにしてもらえればと思いますので、お願いします。誤開いたしますと、
0:55:28	関係力社長カトウです規制庁から他いかがでしょうか。
0:55:33	私は特にないです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:39	はい、じゃ、よろしければ、以上で最後スケジュールのご説明をお願いします。
0:55:47	はい。それでは、推進室次長の方から今後のスケジュールについてご報告をさせていただきます。本日をもってまして、同じ施設の追加から工程線量の進捗状況、
0:56:02	ガラス固化処理の進捗状況、あと、その他ということで、羽織るあの辺説明させていただいております。
0:56:09	次回は、
0:56:11	2週間後ですね、1月の3日。
0:56:16	行動しておりまして、後で洗浄の状況とガラスの進捗状況、あとは本日コメントいただきまして、Howワンフロアの件、説明資料を修正して改めてご説明させていただければと考えております。
0:56:31	あとですね今後の監視チーム会合のスケジュールということで、想定した問題の方もですね計画的に進めさせていただければと思っておりますが、ちょっと監視チーム会合の
0:56:44	ひし形を打つところがちょっと間違っておりまして、8月の最終週というか来週のところにも入っちゃってるんですけども、前の週ですね8月22から26の週に、
0:56:58	監視の態度が設置される可能性が高いというふうに考えておりまして、
0:57:05	この4月、ちょっと1週間前倒しにずらして、その前の週ぐらいにですね監視員会合の資料については、ご説明を
0:57:16	したいというふうに考えております。
0:57:19	今後も継続的というか計画的にメンバーの方示させていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。
0:57:33	延長規制庁の加藤でございます。説明ありがとうございました。
0:57:38	来週、次の面談8月の3日をご希望ということなんですけれども、
0:57:44	今のところ、14時カラーで枠とらせていただいておりますので14時から16時で予定していただければというふうに思います。
0:57:56	はい、承知しましてありがとうございます。
0:58:16	これはスケジュールに関して規制庁側からいかがでしょうか。
0:58:26	特にありません。
0:58:30	はい現職主事の加藤ですけれども次回の会合なんですけど、一応日程調整今週、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:38	からちょっと始めてみようかと思ってまして、大体この種くらいのあたりでできそうだったというのがめどがつかましたらこちらの方にご連絡しますので、よろしくお願いします。
0:58:51	すいませんちょっとまだ不透明で申し訳ないんですが、一応今のところはそういう状況です。
0:58:57	はい、承知しました。よろしくお願いします。
0:59:03	他よろしいでしょうか。
0:59:09	現象機構側から何か連絡事項等ありましたらお願いします。
0:59:21	対象施設課の仲村ですけれども。
0:59:23	よろしいでしょうか。6月末に申請させていただきました
0:59:29	行政レベルの変更申請と去年、差し込みレベルの申請関係の案件なんですけれども、審査の状況というか、報道というのは、大体わかりましたら、
0:59:41	教えていただきますと幸いです。
0:59:45	元消費者庁カトウです生じたちなみに、これ民間の希望は10月というふうに変ってるんですけれども、それで間違いないですか。
0:59:58	はい。10月頭ぐらいにいただければこの方も、この事象なく進められると思っております。
1:00:10	何となく8月のあの会合一発で多分大丈夫かなというふうな頭があるんですけれども、
1:00:18	はい承知いたしましたちょっと状況が、進捗ありましたらもうご連絡差上げます。
1:00:26	はい。よろしくお願いいたします。
1:00:30	他何かございますでしょうか。
1:00:33	でしょう機構の狩野です。8月の会合の件なんです、メインの話題はガラスの進捗状況、ホールドポイント過ぎての評価っていうところでさせていただきたいというのとまたあわせて、
1:00:49	5月に6月30日に申請させていただいた案件についてその内容を通り紹介させ、
1:00:55	いただいでご議論いただくというような形なのかなと思ってるんですが早々にそんなメニューでよろしいでしょうか。
1:01:05	原子炉規制庁の加藤ですこちらもそういうり、そのつもりです。はい。その理解で間違いないです。
1:01:13	承知しました。あと併せて先日紹介した

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:19	火災関係訓練の状況ですとかそういったのもあわせて、別途報告というふうにそのような形で考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。
1:01:31	規制庁加藤です。はい、承知いたしましたよろしくお願いたします。
1:01:38	はい。はい。他は以上になります。
1:01:43	はい。ありがとうございました。
1:01:46	それではよろしければ本日の面談これで終了したいと思いますどうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。